

「第51回（令和5年度） 富山県産業安全衛生大会」が 開催されました

「第51回（令和5年度）富山県産業安全衛生大会」が7月21日（金）「ボルファートとやま」において開催されました。昨年度に引き続き、会場参加のほかにWEB配信も実施されました。

大会の内容

富山労働局長表彰

安全衛生水準が良好で他の模範と認められる事業場として、次の企業様が表彰されました。

優良賞

株式会社安藤・間 北陸支店
利賀トンネル（河床進入）工事

奨励賞

東ソー・セラミックス株式会社
ワタキューセイモア株式会社
名古屋支店 北陸営業所

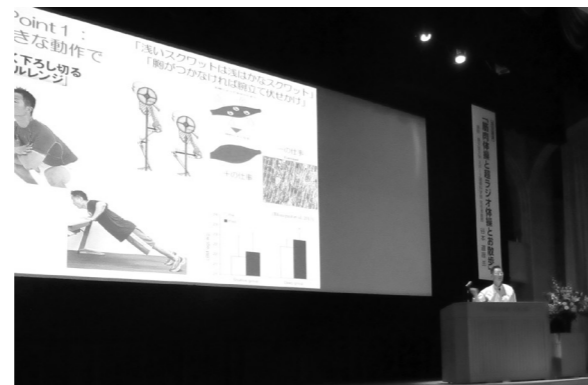


事例発表

昨年度奨励賞を受賞された株式会社エッセンから、腰痛緩和体操教室、作業前体操の導入、セルフケアミーティング、健康づくりキャンペーンなど安全衛生活動についての発表がありました。

谷本氏講演「筋肉体操と超ラジオ体操とお散歩」

順天堂大学スポーツ健康科学部 前任准教授 谷本道哉氏により、「筋肉体操と超ラジオ体操とお散歩」と題した講演が行われました。腰痛や肩こり予防のための超ラジオ体操や、フレイル・サルコペニア予防のための筋肉体操を実際に体験しました。



富山県THP推進協議会 による企画

事務局である北陸予防医学協会 富山市角川介護予防センターの健康運動指導士による「脳トレ体操」や、「健康づくり相談コーナー」を設けて健康に関する相談を受け付けました。また、野菜摂取レベル・推定野菜摂取量がチェックできる「ベジチェック」を実施。数値が低く出た方には、野菜摂取量を増やすためのアドバイスを行いました。

「第64回 日本人間ドック学会 学術大会」に 参加しました

一般財団法人 北陸予防医学協会
健康推進課 田添貴子 鍋嶋郁弥

2023年9月1日～2日に開催された「第64回 日本人間ドック学会 学術大会」に参加し、下記演題のポスター発表をいたしました。

本大会のメインテーマは「**人生100年時代を支える予防医療の進歩**」で、事前参加申込が3,600名を超える状況でした。日本人間ドック学会は2024年4月に「日本人間ドック・予防医療学会」へと名称変更を予定しており、予防医療の充実とさらなる発展が期待されています。

今回の学術大会では、当協会でも力を入れていきたいと考えている「精密検査受診率および精密検査結果把握率の向上」に関する発表が多数ありました。これを受け、2024年4月からの新健診システムの導入に合わせた対応方法の確立や、受診先の医療機関との連携強化、確実な受診に向けた方法を検討する必要があると再認識しました。

現在はスマートフォンの普及により誰でも手軽にさまざまな情報を得られますが、その量が膨大なためにかえって正確な情報を得ることが難しくもあります。そこで、良質な医療情報を診察・保健指導・受付等で提供できるシステム構築を視野に入れ、受診者様が健康診断を受けた後も安心して治療や生活ができるよう、保健指導をはじめとしたスキルを磨き、各種サービスを提供していきたいと思っております。



ポスター 発表

「当日初回面接を取り入れた 特定保健指導の効果と課題」

発表者：保健師 田添貴子

当日初回面接の効果の評価と課題の整理を行うことを目的に、初回面接の時期と特定保健指導の実施率（完遂／中断）や翌年の生活習慣との関連を比較検討し、発表いたしました。

当日初回面接を行った人は、後日初回面接を行った人に比べ、以下のような結果が得られました。

- 保健指導の完遂率が低いにも関わらず、喫煙行動を良好に維持できている人の割合が高い（ $p<0.05$ ）
- 飲酒行動が悪化した人の割合が低い（ $p<0.05$ ）

このことから、当日初回面接実施者の特定保健指導完遂率を上げることで、喫煙・飲酒行動以外の生活習慣項目においてもポジティブな結果が得られる可能性があり、特定保健指導の完遂率の向上は今後さらに対応すべき課題といえます。



協会けんぽに
加入のみなさまへ

付加健診をご利用ください



当協会では、一定年齢以上になると病気発症リスクが高くなることから、人間ドック等の受診をおすすめしております。

また、協会けんぽの被保険者で節目年齢の方は、生活習慣病予防健診(一般健診)に「付加健診」を追加することができます。協会けんぽからの補助がありますのでぜひご利用いただき、病気の早期発見と健康寿命の延伸にお役立てください。

【付加健診の対象となる節目年齢】

40歳・50歳

令和6年度から45歳・55歳・60歳・65歳・70歳も対象となる予定です。

とくに次のような方には
受診をおすすめします!

- 喫煙者
- 肥満症の方
- 家族にがんや脳卒中などの既往歴がある方

【付加健診の項目】

検査名	検査対象・種類	異常がある場合に疑われる病気
腹部超音波検査	肝臓	腹部臓器の障害・がん
	胆のう	
	膵臓	
	腎臓	
眼底検査	眼科的疾患	白内障・緑内障・加齢黄斑変性症
	内科的疾患	動脈硬化症・糖尿病性網膜症・高血圧性網膜症
肺機能検査	肺活量	気管支喘息・慢性気管支炎・肺繊維症・肺気腫
	%肺活量	
	努力性肺活量	
	1秒率	
	1秒量	
尿検査	尿沈渣	尿路感染症・尿路結石・尿路腫瘍・慢性腎炎
	尿蛋白	糖尿病・腎臓病
血液検査	血小板数	白血病・鉄欠乏性貧血・血小板血症
	総蛋白	多発性骨髄腫・ネフローゼ症候群・肝硬変・膠原病
	アルブミン	肝障害
	総ビリルビン	肝炎・黄疸・胆石症
	LDH	心筋梗塞・がん・肝炎
	血清アミラーゼ	膵炎・膵臓がん・耳下腺炎
白血球像	悪性リンパ腫・白血病・アレルギー性疾患	

※肺機能検査は、新型コロナウイルス感染症対策等のため休止する場合があります。

〈お問い合わせ〉 北陸予防医学協会 業務渉外課 TEL 076-436-1238

セミナー開催のお知らせ

◆第41回 北陸予防医学協会「健康セミナー」 2024年2月24日(土)

現在、5年相対生存率がもっとも低いといわれている膵臓がん。第41回「健康セミナー」は、公開セミナーとして「膵臓がんのすべて」をテーマに2024年2月24日(土)午後から富山国際会議場大ホールで行う予定です。

各先生方に膵臓がんの最新情報をお話しますので、ぜひご参加ください。

- 国立がん研究センター 岩崎基先生 「疫学について」
- 富山大学第三内科 安田一朗先生 「診断について」
- 富山大学第二外科 藤井努先生 「治療について」

◆ヘルスリテラシー向上セミナー 各施設 月1回

右の2施設にて、ヘルスリテラシー向上のためのセミナーを開催予定です。2024年1月・2月・3月にも計画していますので、みなさまの参加をお待ちしております(2023年度中のセミナーは参加費無料)!

	高岡総合健診センター	とやま健診プラザ
職場でできる腰痛予防 (講師:健康運動指導士)	11月24日(金) 15:30~16:30	11月10日(金) 15:30~16:30
交代勤務者の食事について (講師:管理栄養士)	12月8日(金) 15:30~16:30	12月22日(金) 15:00~16:00

参加申込は
こちらからどうぞ



〈締切〉
開催日の3日前

〈お問い合わせ〉 北陸予防医学協会 健康推進課 TEL 076-436-1281

広報紙に関するご意見・ご要望等は、健康推進課 黒川・保井までご連絡ください。
TEL 076-436-1281 FAX 076-436-1240

スタッフを
紹介します

看護科 健診測定員



看護科 健診測定員は、常勤・非常勤・派遣社員合わせて計28名が在籍しております。

健康管理センター内および巡回健診にて受付・身体計測業務などを行うほか、腹囲測定や尿検査なども看護師や検査技師のフォローやサポートができるよう内部認定を取得し、日々業務に携わっています。

受付業務は受診者様と一番関わりのあるポジションであり、受診者様の気持ちを考えて気分よく健診を受け、笑顔で帰っていただけるよう、日々心がけることが大切です。

また、受診者様お一人お一人の健診内容にも不備がないように細心の注意を払い、受付や確認作業に努めております。

これからも健診測定員一同「おもてなしのこころ」を持って、受診者様と向き合っていきたいと思っております。



二次健康診断を促す 動画配信事業に 協力しました



一般財団法人 北陸予防医学協会
管理医師 山上 孝司

健診結果で二次健康診断が必要と判断されても、医療機関を受診せず放置している方が多くいらっしゃいます。全国健康保険協会(協会けんぽ)富山支部は、このような現状を打開する方法のひとつとして、YouTubeを使って二次健康診断の必要性を訴える事業を計画されました。内容はYouTuberに健康診断を体験してもらうというもので、その会場として北陸予防医学協会「とやま健診プラザ」をご利用いただきました。

実際に健康診断を受けていただいた後、私山上が当日の健診結果の説明と二次健康診断の必要性をお話いたしました。

体験当日の様子です。
みなさま、ぜひご視聴ください!



▼動画はこちらから



<https://youtu.be/NC75ERqR4R8?si=hBIPo0XXOGmDdsVZ>